

平成20年10月21日

各 位

上場会社名 協和発酵キリン株式会社  
 代表者 代表取締役社長 松田 謙  
 (コード番号 4151)  
 問合せ先責任者 コーポレートコミュニケーション部長 久我 哲郎  
 (TEL 03-3282-0009)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年4月28日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	245,000	31,000	31,000	16,000	27.84
今回発表予想(B)	247,700	29,100	30,300	8,200	14.43
増減額(B-A)	2,700	△1,900	△700	△7,800	——
増減率(%)	1.1	△6.1	△2.3	△48.8	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	192,639	18,246	18,080	11,047	27.77

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	490,000	57,000	56,000	28,000	48.72
今回発表予想(B)	490,000	50,000	50,000	17,000	29.60
増減額(B-A)	—	△7,000	△6,000	△11,000	——
増減率(%)	—	△12.3	△10.7	△39.3	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	392,119	39,390	37,996	23,477	59.03

## 修正の理由

(第2四半期連結累計期間)

本日発表いたしました「食品事業の統合に関する契約の締結について」に記載の通り、当社は、当社が保有する協和発酵フーズ(株)(連結子会社)の株式を売却することを決定いたしました。これにより、税効果会計上、当該子会社への投資に係る連結財務諸表固有の一時差異(投資の連結貸借対照表上の価額と個別貸借対照表上の簿価との差額)に対して税効果を認識することが必要になり、当第2四半期連結累計期間において約56億円の法人税等調整額(及び繰延税金負債)を計上する見込みとなったため、四半期純利益の予想数値を下方修正いたしました。

なお、事業別の業績に関しましては、バイオケミカル事業及び化学品事業については、計画を上回る水準で堅調に推移しており、また、食品事業についても概ね計画通りに進捗しておりますが、一方で、医薬事業については、貧血治療剤「ネスプ」・「エスポー」や二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「レグバラ」の売上げが計画を下回って推移しておりますことや、導入費用等(約30億円)の発生がありましたことなどにより、当初予想を下回ることが見込まれます。この結果、当社グループ全体としては、売上高は当初予想を上回る見込みですが、営業利益及び経常利益は当初予想を若干下回る見込みです。

(通期)

通期の業績予想につきましては、医薬事業において第2四半期連結累計期間と同様の傾向が予想されるほか、化学品事業等においても、世界的な景気減速等による収益環境の悪化が予想されることから、第3四半期以降は各事業とも当初計画の利益水準を下回ることが見込まれるため、営業利益及び経常利益を下方に修正いたしました。

また、当期純利益に関しましては、平成21年3月予定の協和発酵フーズ(株)株式譲渡に伴い約45億円の関係会社株式売却益を特別利益に計上する見込みですが、税効果会計適用後の当期純利益においては△30億円程度の影響が見込まれることや、キリンファーマ(株)との販売拠点統合や研究開発組織再編成等の統合施策推進に伴い、統合関連費用などの特別損失の増加も見込まれることから、当期純利益の予想数値を下方修正いたしました。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上